



竹富町立西表小中学校

【校訓】 明るく かしく たくましく



西表小中学校は西表島西部にあります。学校の目の前に祖納岳、そのふもとには田んぼ、すぐ近くを与那田川が流れ、校舎の裏には北泊（ニシドマリ）の浜が広がる自然豊かな場所に位置しています。今年で、小学校創立135年、中学校創立76年を迎えた、歴史と伝統ある学校です。

校区は、祖納・干立・白浜（中学校のみ）の3地域から成り、児童9名、生徒12名、職員16名の極小規模校です。

シンボルである樹齢100年を超えるセンダンの木が学校や子供たちを見守ってくれています。

3地域それぞれに伝統があり、祖納と干立では豊年祭や節祭、白浜では海神祭が行われています。児童生徒は、幼い頃から伝統行事に参加し、地域の人々や環境に育てられています。

また、15の春（島立ち）に向け、自立と自律の育成に努めています。

西表小中学校三大行事

稲作体験学習

- 1月 餅つき
- 2月 田植え
- 6月 稲刈り
- 7月 新米おにぎり作り



和紙づくり体験学習



和紙の原料となるアオガンピ（左下）とトロロアオイ（右下）を、学校で育て、12月に手作りの卒業証書を完成させる。



海の体験学習

- 刺し網漁
- ダイビング・シュノーケリング
- サバニ乗船

※3年サイクルで体験

今年度は
刺し網漁体験
(4月実施)



- 毎年、運動会と学習発表会があり、児童生徒の出番がたくさんあります。
- 校内には多種多様な植物や木が生い茂り、にわとり、鯉も飼っています。